

氏名	江口 のぞみ	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	精神看護学				
学位	博士（保健学）				
学歴	2003年 兵庫県立看護大学看護学部看護学科卒業 2012年 東京大学大学院健康科学・看護学専攻精神看護学分野博士前期課程修了 2019年 東京大学大学院健康科学・看護学専攻精神看護学分野博士後期課程単位取得満期退学（2020年修了）				
経歴	2003年 精神医学研究所附属東京武蔵野病院 看護師 2006年 兵庫県立大学看護学部看護学科 助手 2019年 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科精神看護学 准教授（現職） 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 精神看護学分野 客員研究員（現職） 2024年 大妻女子大学臨床社会学専修 非常勤講師（現職）				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本災害看護学会、日本GI学会、日本精神障害者リハビリテーション学会、 日本看護管理学会、日本精神保健看護学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	25の事例から学ぶ 看護のための心理的安全性	共著	あり	弘文堂、280頁		秋山美紀, 石井遼介, 前野隆司編集 <u>江口のぞみ</u> （第4章3節）	2025.4
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	問診票の性別欄についての実態調査 ～トランスジェンダー当事者への配慮についての考察～	共著	あり		日本GI（性別不合） 学会雑誌、18(1)、 33-41	阿部美穂、 <u>江口のぞみ</u>	2025.12
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	医療従事者へのVRを用いた暴力防止プログラムの 現状と課題—文献レビューより—	共同	第24回日本VR医学会学術集会、吹田市		○小竹理紗、谷口麻希、平岩千明、 <u>江口のぞみ</u>		2025.8
2	児童期に家庭内性暴力を受けた女性たちのリカバリーに寄与・阻害する要因についての考察:複線 経路・等至性モデル (TEM) による分析	共同	第24回日本トラウマティック・ストレス学会、千代田区		○松本衣美、 <u>江口のぞみ</u> 、宮本有紀、 金田智之、岡本かおり、齋藤梓		2025.8
3	【市民公開講座】 江戸～東京の防災のまちづくり	共同	日本災害看護学会第27回年次大会、渋谷区		○ <u>江口のぞみ</u> 、○久保恭子、立垣祐子、伊東愛、長田恵子		2025.9
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	性別違和の治療が当事者の生活の質および精神的健康に与える影響			研究代表者		2022.4-2026.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究A）	対人支援場面における攻撃性の制御：トラウマ理論に基づく経験学習プログラムの開発			研究分担者		2025.4-2029.3

3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	精神看護学Ⅰ		1	自分自身のメンタルヘルスについて、具体性をもって理解できるように、事例や映像資料を用いて講義をおこなった。	
2	精神看護学Ⅱ	○	4	科目責任者として、精神疾患をもつ人とその家族への効果的な看護を展開するための知識と技術を習得できるように授業を構成した。また、精神疾患をもつ人の治療、精神科における基本的人権と倫理的問題について、学生が構造的に理解できるように講義を行った。	
3	メンタルヘルス論		3	メンタルヘルスの回復・保持・増進に必要な支援を総合的に理解でき、主体的に学習できるように科目の運営を行った。また、多様性が尊重される社会を実現するために看護職ができることを考察することを目的としてジェンダーとメンタルヘルスの講義を担当した。	
4	看護基盤科学 臨床薬理学		3	薬物療法に関わる臨床判断、症状マネジメント、安全な服薬管理等について、事例を通して議論し、看護実践への活用について検討した。	
5	看護学演習（精神看護）		15	精神看護学領域の研究論文を中心に文献検討を行い、実践課題を探究するための研究方法を指導した。先行研究や教員・学生の経験に基づき、議論を行いながら、論文作成、発表に向けての指導を行った。	
6	精神保健支援論		4	保健医療福祉学のうち精神科もしくは精神保健福祉にかかる研究課題について講義を行った。特に、性別違和（Gender Dysphoria）を有する人に関する精神保健医療福祉における取組を紹介し課題について整理した。最後の授業では、科目全体を振り返り、精神保健の支援について履修学生が発表した内容について討議を行った。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	精神看護学Ⅱ		8	3年次生に対して「場面の再構成」と「ケアプランの作成」演習の指導を行い、学生間で活発にディスカッションが行われるように調整・指導を行った。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	総合実習		2025.7	4年次生に対して精神科デイケアでの実習指導を行い、精神障害をもつ人の理解と地域で必要な支援を統合的に学べるように調整した。	
2	IPW実習		2025.8	教員ファシリテータとして、学生チームの学習・実習環境を整備し、チーム活動が円滑に進むように支援した。	
3	精神看護学実習		2025.10-12	3年次生に対して臨地、学内演習、遠隔での実習指導を行った。精神障害をもつ人の理解と看護を学べるように医療機関や地域施設の実習指導者と調整を行った。	
(4) 論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		2025.4-2025.12	主指導 4名	副指導 0名
2	修士論文		2025.4-2026.3	主指導（指導教員） 0名	副指導（指導補助教員） 2名
(5) その他					
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	看護研究指導		2025.4-2026.3	埼玉精神神経センター内の研究チームが実施する看護研究（9演題）について、計画立案、実施、分析、論文作成の指導を行なった。	
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉未来大学地域創造科アクティブコース		埼玉未来大学	上手なコミュニケーションの取り方	2025.5
2	埼玉県立大学一般公開講座		埼玉県立大学	家族のためのリカバリートーク	2025.10

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	一般社団法人Spring 共同研究 「性暴力被害経験に関する質的研究」 調査チーム	分担研究者	2017.10-
2	日本災害看護学会	社会貢献・広報委員会委員	2021.9-
3	さいたま市精神保健福祉審議会	審議会委員	2021.9-
4	ウェルビーイング学会	学会誌編集委員会編集委員	2025.4-
5	日本精神保健看護学会	査読委員	2025.4-
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	地域貢献活動	埼玉県社会福祉協議会	ふくしミニミニ動画 ちょこっと福祉ライブラリー「LGBTQについて」 2024.2-
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	ダイバーシティ推進委員会委員	2025.4-2026.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会委員	2025.4-2026.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	埼玉県立大学ジェンダーサークルいろえんぴつ顧問（2023.6-）		